

## 令和5年度事業報告

当協会では、今後の活動の方向性を示した「山口県国際交流協会中期活動プラン」（令和元年度から5か年間）に基づき、厳しい財政状況の中、関係機関・団体等との連携の下、様々な事業に取り組んでいるところである。

こうした中、令和5年度は、前年度に引き続きオンラインも活用しながら、多文化共生の地域づくりに向けた事業をはじめとして、各種の事業について、効果的かつ効率的な実施に取り組んだ。

令和5年度事業の実施状況は、次のとおりである。

### 1 協会運営事業

#### (1) 国際交流基金の造成

県・市町（平成11年度から休止）、民間ともに、出捐金の実績はなかった。

#### (2) 協会事業のPR及び賛助会員・事業用寄付金の募集

運営基盤の強化に向け、協会事業のPR及び賛助会員・事業用寄付金の募集を行った。

#### ア 協会事業のPR（パンフレットの配布等）

- 岩国市内地域日本語教室勉強会 (4月 8日・岩国市)
- 外国文化講座（トルコほか） (4月 22日ほか・山口市)
- 総合調整会議 (5月 16日ほか・山口市)
- オンラインにほんごクラス (5月 23日ほか・オンライン)
- 県総合防災訓練 (6月 4日・萩市)
- 山口芸術短期大学講義 (6月 12日・山口市)
- 外国ルーツの子ども支援ネットワーク会議 (6月 21日・山口市)
- 多文化共生推進リーダー育成講座 (6月 24日・山口市)
- 社会教育指導者のための人権教育研修講座 (7月 11日・山口市)
- 外国人住民等相談窓口対応研修会 (7月 28日・オンライン)
- 多文化共生に係る行政連携会議 (8月 4日・山口市)
- KRY ラジオ「KRY Morning UP」 (8月 8日)
- 美祢市人権教育ふれあい講座 (8月 18日・美祢市)
- 人権ふれあいフェスティバル (8月 19日・萩市)
- 山口ロータリークラブ卓話 (8月 23日・山口市)
- インターンシップ受入 (8月 29日・山口市)
- ながと日本語クラブ研修会 (9月 3日・長門市)
- やまぐち外国人相談支援ネットワーク会議 (9月 13日・山口市)
- 外国につながる子どもの日本語学習支援講座 (9月 16日ほか・オンラインほか)
- 日本語ボランティア入門講座 (9月 30日ほか・オンライン)
- 山口県立大学国際文化学部講義 (10月 6日・山口市)
- きららでキラリ！県民つながるフェスタ (10月 7日ほか・山口市)
- 日本語で話そう in くだまつ (11月 19日ほか・下松市)
- 外国人住民のための絵手紙講座 (11月 26日・山口市)
- 上宇部隣保館講座・同好会等人権学習会 (11月 29日・宇部市)

- 山口大学国際総合科学部講義 (12月 6日・山口市)
- 多文化共生講座 (12月 9日・岩国市)
- 日本語ボランティアスキルアップ講座 (12月 14日ほか・防府市ほか)
- 山口大学教育学部講義 (1月 22日・山口市)
- 災害時外国人サポーター養成講座 (2月 3日・山口市)
- 国連フェスタ (2月 4日・山口市)
- 防府市人権学習推進委員協議会 (2月 15日・防府市)
- 地域日本語教育連携・情報交換会 (2月 19日・山口市)
- コミュニティ通訳ボランティア講座 (3月 2日・オンライン)
- 外国人住民のための防災教室 (3月 10日・山陽小野田市)
- 山口大学留学生向け防災オリエンテーション (3月 28日・山口市)

## イ 賛助会員

区 分		令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B - A)
会員数	個人	309名 (311口)	297名 (297口)	+12名 (+14口)
	団体	74団体 (140口)	74団体 (149口)	±0 (-9口)
	市町	県内全 19市町	県内全 19市町	±0
賛助会費収入		2,979,000円	3,041,000円	△62,000円

賛助会員の加入促進及び会費納入時の非接触化を図る観点から、令和3年度分より、個人会員を対象に協会ホームページ上でのクレジットカード支払いも可能にした。

## ウ 事業用寄付金

5件、34,704円の寄付があった。

## 2 情報ネットワークを構築する事業

### (1) 情報収集提供事業

国際交流・国際協力・多文化共生に関する各種情報の収集や提供・普及等を行った。

### (2) 広報事業

広く県民を対象に、協会の役割、協会事業への参加・協力のための情報を提供した。

#### ア ホームページの活用促進事業

協会主催イベント及び県内外の国際交流・国際協力・多文化共生に係るイベント情報等をホームページに掲載した。

また、外国人キーパーソン等とも連携しながら、SNS (Facebook・X) でも情報発信を行った。

区 分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (B - A)
ホームページユーザー数	27,549人	29,029人	△1,480人
Facebook フォロワー数	1,885人	1,766人	119人
X フォロワー数	471人	439人	32人

#### イ 携帯メール配信事業

配信希望登録者 (603人) にイベント等各種情報のメールマガジン配信 (月2回) を行った。

### 3 県民の主体的な国際活動を支援しコーディネートする事業

#### (1) 国際活動助成金事業

県内の国際活動団体が行う多文化共生推進事業・国際交流事業、国際協力事業に対して、助成金を交付した。

団体名	事業名	確定額(円)
NPO法人にほんごコミュニティ	第2回下関にほんごスピーチコンテスト	70,000
しものせき国際交流ねっと	異文化理解講座Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	53,000
周南国際交流児童クラブ	周南国際交流児童クラブ定例事業	54,000
周南地区日本中国友好協会	しゅうなん日中文化交流会	70,000
やまぐち韓国研究会	Enjoy!!あなたの知らない世界 with YPU 2023	53,000
グローバルハーツシェアリング山口	外国人と地域をつなぐ国際交流プログラム	55,000
梅光学院大学宋ゼミ	国際交流・多文化共創の場	51,000
NPO法人ワン・フォー・オール	「ハラルフードとファッションショー」で国際交流	70,000
計	8事業	476,000

### 4 地域社会における多文化共生を推進する事業

#### (1) 外国人のための日本語講座支援事業

地域日本語教育推進事業（受託事業）で実施した。

#### (2) 外国人住民トータルサポート事業

##### ア 日本語ボランティア養成講座開催事業

地域日本語教育推進事業（受託事業）で実施した。

##### イ 通訳・翻訳サポータースキルアップ講座開催事業

協会登録の通訳・翻訳サポーターや活動に興味のある方を対象に「コミュニティ通訳ボランティア講座」をZoomで開催し、コミュニティ通訳ボランティアの基礎的知識とスキルの向上を図るとともに新規登録者の発掘を行った。

開催日：令和6年3月2日（土）

講師：（一財）自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー

村松 紀子 氏（スペイン語通訳相談員・社会福祉士）

参加者：20名

##### ウ 医療サポート事業

医療機関からの依頼に対して通訳を派遣しているが、今年度の実績はなかった。

件数：0件

エ 留学生ホームビジット交流事業

県内大学や市町等が実施する同事業について、協会登録のホストファミリーに案内する事業だが、紹介の実績はなかった。

登録数：70 家庭 紹介件数：0件

オ 多文化共生サポーターの活用

① 日本語ボランティアの活用

日本語学習希望者からの個別の希望内容に応じて、ボランティアの紹介を行っているが、今年度は依頼がなかった。

登録者数：22 名 紹介件数：0 件

② 語学（通訳・翻訳）サポーターの紹介

国際交流イベント、会議、レセプション、法律相談、外国人住民の生活サポート等における通訳や文書等の翻訳者の紹介を行った。

登録者数：93 名 紹介件数：30 件（延べ 40 名）

カ 多文化共生啓発事業

多文化共生のまちづくりをテーマとした「多文化共生講座」を岩国市と共催で開催した。

開催日：12月9日（土）

場 所：岩国市民文化会館

講 師：（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏

参加者：24 名

キ 外国人住民エンパワメント事業

外国人住民を対象に、絵手紙体験を通して日本文化への理解を深める講座を開催した。

開催日：11月26日（日）

場 所：山口市平川地域交流センター

講 師：阿部 文枝 氏

参加者：7 名（5 か国・地域）

ク 外国につながる子どもの日本語学習支援講座

外国につながる子どもの日本語学習支援について学ぶ講座を開催した。

○ オンライン

開催日：9月16日（土）、9月30日（土）

方 法：Zoom

講 師：NPO 法人おおさかこども多文化センター受託 池田市在日外国人日本語指導支援事業 コーディネーター・日本語指導専門員 森 典子 氏

参加者：50 名

○ 山口市

開催日：11月18日（土）

場 所：山口市小郡ふれあいセンター  
講 師：東京外国語大学 准教授 小島 祥美 氏  
参加者：30名

(3) 大規模災害時における外国人支援研修事業

ア 災害時外国人サポーター養成講座

災害時に外国人を支援するボランティアを養成する講座を、県・山口市との共催により開催した。

開催日：令和6年2月3日（土）

場 所：山口市小郡ふれあいセンター

講 師：（公財）佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢富 明德 氏

参加者：31名 災害時外国人サポーター登録者数：65名

イ 外国人住民のための防災教室

県内在住の外国人の防災意識を高めるため、日本で起こる災害や災害への備えについて学ぶ教室を山陽小野田市国際交流協会と共催で開催した。

開催日：令和6年3月10日（日）

場 所：厚狭地区複合施設

講 師：防災士 工藤 美佐 氏

参加者：外国人26名（11か国・地域）、日本人7名

ウ 防災訓練への参加

県総合防災訓練（萩市）に参加し、災害時の外国人支援や協会の取組について紹介を行った。

## 5 国際理解・国際交流・国際協力を推進する事業

(1) 外国文化講座等開催事業

県内の外国人住民等を講師に、外国の文化について紹介する講座を開催し、外国への理解を促進するとともに、国際活動の推進を図った。

開催日	タイトル	講師	参加者数
4月22日(土)	トルコ文化講座	福岡大学商学部貿易学科 教授 アケミク キュチュク アリ 氏	22名
6月10日(土)	マンドゥバッグ作り&韓国語講座	山口県国際交流員（韓国） ソン ハンビッ 氏	9名
3月9日(土)	外国文化講座（コロンビア）	山口県 JICA デスク 国際協力推進員 水野 美加 氏	18名

(2) 青少年交流事業

山東省青少年代表団の受入れ等について、前年度に引き続き中止した。

(3) 国際理解教材貸出事業

民族衣装の貸出し等を行うことにより、県民の国際理解の促進を図った。

民族衣装 12 件 (100 枚)、世界の楽器 1 件 (7 個)、国旗 11 件 (24 枚)、  
卓上旗 7 件 (21 枚)

(4) 海外技術研修員等受入事業

在外山口県人の子弟等を受け入れ、出身国の社会・経済の発展に貢献する人材の育成を  
図る県の事業に協力し、海外技術研修員の受入れを支援した。

海外技術研修員 5 名 (ブラジル 3 名、ペルー 1 名、メキシコ 1 名)

## 6 受託事業(山口県から受託)

(1) 多言語相談窓口設置受託事業 (やまぐち外国人総合相談センター)

多言語により外国人住民等からの相談を受け付け、情報提供や関係機関への取次ぎ等を行  
うことを目的とした「やまぐち外国人総合相談センター」の運営を行った。

① 運営

○ 相談体制：多文化共生コーディネーター 2 名

多言語相談員 (英語、中国語、ベトナム語、タガログ語)

多言語コールセンター (20 言語以上)

○ 相談方法：電話、来所相談、Skype 通話、Messenger、その他 (メール等)

○ 相談件数：1,102 件 (外国人：529 件、日本人：573 件)

[国・地域数] 32 か国・地域 ※不明 4 件 [言語数] 15 言語

[相談内容] 25 項目 [専門相談] 弁護士相談 3 件、行政書士相談 0 件

※ 生活全般の相談が多くあったほか、外国人からの日本語学習や労働、離婚・親権、  
住宅、子育てに関する相談が増加している。

② 会議・研修会開催

○ 令和 5 年度やまぐち外国人相談支援ネットワーク会議

外国人住民等からの相談に対して適切な情報提供や専門機関への迅速な取次ぎが行  
えるよう、県内関係機関相互の支援ネットワークの構築・強化を図ることを目的に開  
催した。

開催日：9 月 13 日 (水)

場 所：山口県庁 共用第 4 会議室

参加機関：30 機関 (入管、福祉、医療、教育、人権、法律、警察、留学生等の分野)

○ 外国人住民等相談窓口対応研修会 (オンライン)

外国人住民等からの相談を適切な支援につなげることを目的として、各団体窓口担  
当者向けに外国人住民対応の基礎について学ぶ研修を Zoom で行った。

開催日：7 月 28 日 (金)

講 師：スペイン語通訳相談員・社会福祉士 村松 紀子 氏

参加者：国・県・市町窓口担当者、関係機関担当者等 46 名

③ 広報・周知普及活動

○ 専用 Facebook による情報提供

○ チラシ及び周知カードの作成と関係機関への配布

○ 相談事例等を掲載した News Letter の発行と関係機関への電子配信

④ その他

コーディネーター及び多言語相談員のスキルアップのため、勉強会の実施や他団体主催のオンライン研修等に参加した。

(2) 地域日本語教育推進受託事業

県内の外国人住民が生活に必要な基礎的な日本語を学習できる環境の整備を図るため、地域日本語教育コーディネーターを配置し、市町や関係機関と連携しながら、モデル日本語教室の実施、日本語学習支援者の養成、オンラインにほんごクラスの開催等を行った。

① 総合調整会議

事業を効果的かつ円滑に進めていくため、県内の有識者・外国人住民等から意見を聴取し、情報を共有する会議を開催した。

令和5年度 委員名簿（敬称略）

委員長	高橋 博史	公益財団法人 山口県国際交流協会 専務理事
委員	宮永 愛子	山口大学 留学生センター 准教授
	山本 晋也	周南公立大学 経済学部 准教授
	杉原 賢治	NPO 法人にほんごコミュニティ 理事長
	石井 和江	日本語クラブ周南 代表
	林 炫情	山口県立大学 国際文化学部 教授
	レー ティ ハウ	西日本海外業務支援協同組合 山口営業所 管理指導員
	畑中 千尋	国際交流ひらかわの風の会 理事
	水野 隆正	山口県中小企業団体中央会 連携支援部 主査
	下橋 由美	専門学校さくら国際言語学院 校長
	松田 恭明	山口県 観光スポーツ文化国際課 課長
	三浦 美雪	柳井市総合政策部地域づくり推進課 課長

開催日・会場：【第1回】 5月16日（火） 山口県国際交流協会  
【第2回】 8月30日（水） KDDI 維新ホール  
【第3回】 令和6年2月22日（木） 山口県庁

② モデル日本語教室の開催

地域日本語教育の実施地域の拡充に向けて、日本人参加者の学習支援体験も試みながら、「日本語で話そう in くだまつ」を開催した。

開催日：11月19日、12月17日、令和6年1月21日 いずれも日曜日

会場：笠戸島公民館、ほしらんど くだまつ

ファシリテーター：周南公立大学 経済学部 准教授 立部 文崇 氏

地域日本語教育総括コーディネーター 浅田 岐依

参加者：外国人 16 名（中国・台湾・インドネシア・ベトナム・フィリピン・米国）  
日本人 17 名

③ 日本語ボランティア入門講座

地域日本語教育を支える学習支援者人材の拡充のため、ボランティアの入門講座を Zoom で開催した。

開催日：9月30日、10月14日、10月28日、11月25日 いずれも土曜日  
10月29日～11月24日 地域日本語教室の見学

講師：（公財）広島平和文化センター 日本語教育コーディネーター 橋本 優香 氏

参加者：35名

④ 日本語ボランティアスキルアップ講座

地域で活動している日本語ボランティアを対象に、日本語学習支援のスキルアップに関する講座を開催した。

○ 防府市

おしゃべりから始める日本語学習支援について学んだ。

開催日：12月14日（木）

会場：防府市地域協働支援センター

講師：山口大学 留学生センター 准教授 宮永 愛子 氏

参加者：21名

○ 山口市・オンライン（ハイブリッド）

学習者の誤用から考える日本語初級文法について学んだ。

開催日：令和6年2月23日（金・祝）

会場：KDDI 維新ホール・Zoom

講師：広島大学大学院 人間社会科学研究科 教授 白川 博之 氏

参加者：56名

⑤ 地域日本語教育連携・情報交換会

地域日本語教育コーディネーターの育成を図るとともに、県・市町・県国際交流協会・地域日本語教室の情報共有や一層の連携を図った。

開催日：令和6年2月19日（月）

会場：山口市小郡ふれあいセンター

講師：日本福祉大学 非常勤講師 土井 佳彦 氏

参加者：41名

⑥ オンラインにほんごクラス

県全域の外国人住民に向けて、生活場面でコミュニケーションを取るために必要な基礎的な日本語学習の機会をオンライン（Zoom）で提供した。

○ 前期（各クラス・全16回）

日程：入門クラス 5月25日～9月7日 毎週木曜日 10:00～12:00

初級1クラス 5月23日～9月12日 毎週火曜日 19:00～21:00  
講師：県内日本語教師 6名  
参加者：入門クラス 9か国・16名  
初級1クラス 9か国・21名

○ 後期（各クラス・全16回）

日程：入門クラス 10月19日～令和6年2月15日 毎週木曜日 10:00～12:00  
初級1クラス 10月24日～令和6年2月13日 毎週火曜日 19:00～21:00  
講師：県内日本語教師 6名  
参加者：入門クラス 11か国・14名  
初級1クラス 10か国・29名

## 7 その他

(1) 中期計画の策定

県の「やまぐち未来維新プラン」及び「山口県多文化共生推進指針」との整合を図りつつ、協会が担うべき役割を踏まえ、県、市町、関係機関、民間国際活動団体等との協働・連携を深めながら、多文化共生に向けた地域づくりや国際交流・国際協力の促進に資する事業の計画的な実施を目指し、令和6年度から5年間の事業展開の方向性を示す「山口県国際交流協会中期活動計画」を策定した。

(2) インターンシップの受入（山口県観光スポーツ文化部からの受入）

実施日：8月29日（火）

人数：14名

参加大学等：山口大学7名、山口県立大学1名、北九州市立大学2名、  
広島修道大学1名、奈良女子大学1名、東洋大学1名、創価大学1名

## 附属明細書について

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので、附属明細書は作成していない。